



～JA事業紹介編～ まんが:じっく

第107話 ～総集編～

JA職員も皆さんを身近に感じています!!



第72話の思い出

「なおさんって JAにくわしいですね! JAマニアですか?」

「私だって身近に JAがなかったら 知らないこと ばっかりだよ(笑)」

「何気なく 利用している JAサービスの 舞台裏なんて 特に」

「SNSで地元情報を つぶやいていたら “もっと教えて”と メッセージが来ました」

「耕太@東京 なおさん!」



「どの課の職員さんも 信頼の技術と安心感を 届けるために 研修と実習に励んでいる」

「より利用しやすく 丁寧で親切であるよう サポート役に徹する 職員さんもたくさんいる」



「日々の業務や研さんに 励む職員さんが やるべきことに集中 できるよ」

「さらに裏側で 全体をまとめている 総務課の職員さんが いるって初めて知ったよ」

「JAは内部の職員同士の サポート体制も しっかりしているから JAのサービスはいつも 利用しやすいんだね 送信」

「ぼくたち組合員も JA職員さんの サポートをしているよ」

「僕らが 意見や要望を出すことで JAがより良い組織に近づけるよ」

「職員一人一人が考え 動けるんだから」

「私たちの意見に 助けられているんだね...!!」

「ところで! 協同組合がユネスコの 無形文化遺産に登録されてるって知ってた?」

「世界に約300万の 協同組合があって JAもその一つで...うんぬんかんかん」

「なっ何者?! マニアックすぎる!!」

「耕太@東京 なおさん 相互扶助だよ?」

「相互扶助?」

主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話聞きながら、将来の自分を見つめます。JA事業を進めていく上で内部体制をしっかりと、組合員・利用者へのサービス向上を目指しています。今月は、今年度紹介した内容をおさらいした総集編です。

編集後記

▽二十四節気の一つの啓蟄(けいちつ)も過ぎ、今年も暖かい春の季節が近づいてきました。種まきなど農作業が忙しくなりますね。農家の皆さんは、今年の作付け計画や作業の準備などで慌ただしくなってきたのではないかと思います。現在、農家では労働力不足が大きな課題となっていてます。そこで、今回の特集ではJAで取り組む農家の雇用対策事業について紹介しています。ご覧下さい。(及川)

▽3月に入り、卒業、進学、就職など家族や自分の新たなステージの準備で忙しく過ごしている方も多いのではないのでしょうか?夢に向かって新たな一歩を踏み出し、心弾む季節ですね。希望と不安でいっぱいだと思います。JAでは、新入学や新社会人など新生活を迎える方を応援するキャンペーンなどを開催しています。ぜひ、お気軽にJAにご相談ください。(阿部)

